

貝塚市議会議長殿

平成 27 年 8 月 6 日
北尾 修

研 修 会 参 加 報 告 書

日時：平成 27 年 7 月 30 日（木）～31 日（金）

研修先：天満研修センター

研修内容：1 日目 「住民一人ひとりが輝く地域をいかに再生するか」
「離島に学ぶ未来のヒント」

2 日目 「地方創生と公共事業」

研修時間：1 日目 13：00～17：00

2 日目 9：20～15：00

7 月 30 日、31 日の 2 日間、天満研修センターにおいて、NPO 法人 建設政策研究所関西支所が主催する、地域を活かし、住民が輝く自治体づくりを考える「地方議会議員研修会」に参加しました。

1 日目午後 1 時 00 分より京都大学大学院教授の岡田知弘氏による「住民一人ひとりが輝く地域をいかに再生するか」と題しての記念講演がありました。記念講演の内容としては、昨年 5 月に発表された日本創生会議の増田レポートは、2040 年には半数の自治体が消滅する可能性があるると予測し、様々な政策を提言しました。

このレポートを前提にして「地方創生」政策が展開をされている。

この講演では、増田レポート及び「地方創生」論を批判的に検討した上で、一人ひとりの住民生活の向上を図り、地域を再生してきた自治体の具体的な事例を紹介し、真に地域を活性化し、豊かにするための基本的な考え方と方策について学ばせて頂きました。

続いて、NPO 法人 離島経済新聞社 代表理事・編集長の鯨本あつこ氏による「離島に学ぶ未来のヒント」と題しての特別講演がありました。

特別講演の内容としては、全国に約 420 島ある有人離島地域専門のメディアを運営する離島経済新聞社がこれまで活動を通して様々な離島住民の姿や想いに触れてきた内容について紹介をし、そこから島国日本が未来に進むヒントを学ばせて頂きました。

2日目午前9時20分より立命館大学教授の森 裕之氏による「地方創生と公共事業～地域を守る地方財政の課題～」について講義がありました。

講義の内容としては第1講 地方創生と自治体、第2講 公共施設と地域再編～事例を踏まえて～、第3講 「公共施設マネジメント」から「住民の自治計画」へと題して進められました。

国が進める「地方創生」の中で、公共施設の統廃合を通じた地域再編が大方針となっています。現在、全国の自治体では「公共施設等総合管理計画」策定を進めていますが、これは行政による上からのマネジメントであり、公共施設の活用主体である住民の視点が抜けています。この計画には自治体の人口動態と財政見通しがリンクされており、自治体行財政のあり方も重要です。本来の地方自治と地域の暮らしのあり方から公共事業と地方財政の再構築について学ばせて頂きました。